

子どもを産み育てることが楽しみになる社会を願っています

安心して頼れる
子育ての
第三の居場所

こそだてテラス

子どもとの日々が思い出いっぱいの楽しい時間であってほしい。
自身の子育ての経験やママさん達の声から、子育て中に
年齢制限なくカフェのように気軽に行ける親子の居場所について考えました。

01 子育てに関する社会課題

- 妊産婦の162人が自殺により命を落としている。
2022年～2024年の3年間のデータ 妊産婦の死亡原因1位である
(いのち支える自殺対策推進センター2025調べ)
- 2024年の出生数は68万人と過去最低を更新。
母親の55%以上が
「子育てに対し不安や悩みがある」と回答。(厚生労働省2022調べ)

02 木津川市の子育て支援

子どもの笑顔が未来に続く 幸せ実感都市 木津川



- ✓ 産後ケア
 - ・産後1年まで(施設によって4か月まで)
 - ・産後1年まで(施設によって4か月まで)
- ✓ 産後1年まで(施設によって4か月まで)
- ✓ 子育て支援センター 市内4ヶ所
- ✓ つどいのひろば 市内3ヶ所
- ✓ 伴走型相談支援
- ✓ 乳幼児家庭基金訪問事業
- ✓ ママと赤ちゃんの相談交流広場

03 制度の中にある課題



木津川市の子育て支援は充実していますが、支援を利用できていないママも多くいらっしゃいます。
「支援」ではない新しい子育ての居場所「こそだてテラス」では
ママの自分時間を楽しむことを大切に、子どもとの時間を過ごすお手伝いをします。

10 こそだてテラスの特徴

専門職チームによる 安心な環境

- ・助産師
- ・保育士
- ・小児科看護師
- ・産前産後理学療法士
- ・臨床心理士
- ・歯科衛生士

個人の特性に 合わせた関わり

- ・こそだてコミュニケーター
によるきめ細やかな配慮
- ・個々にプランの作成
- ・本人が選択できる

0歳児に 限らない

- ・未就園児の利用
- ・兄弟姉妹の子育て支援

12 こそだてテラスの提供サービス

提供サービス

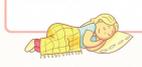
安全

- ・施設内一時的託児
- ・送迎サービス



癒し

- ・睡眠がとれる
- ・のんびりくつろげる
- ・お風呂にゆっくり入る
- ・演奏会がある



食

- ・おしゃれなカフェ
- ・美味しい食事
- ・食事時間の確保



楽しみ

- ・イベント
- ・講習
- ・運動系のもの
- ・文化系のもの



23 ママになる前の世代の声を聞く

こそだてテラスの話聞いての感想

- ・子どもを持つことが不安から楽しみに変わった
- ・頼れる場所ができる安心がある
- ・自分でも子育てできると思った
- ・こういう場所があれば、転入も考える
- ・親も安心してくれるのでは(親が遠方)

子育てを支え合う新しいかたちを「木津川モデル」として
木津川市や企業様の協力を仰ぎながら
一緒に育てていけたら嬉しく思います。
どうぞよろしくお願ひいたします。

プロジェクト研究

Future Lab. Kizugawa

おやこスタジオpeekaboo代表 助産師フォトグラファー 岡田 貴子